



広域広報

おきたま

No.45

平成23年(2011年)

8/15



白竜湖と置賜盆地(南陽市)

風俗 遺跡
置賜再発見
自然 史跡
 ふるさとの心をさぐる
 郷土芸能 第17回

置賜地域は古来より一体的な地域として発展・振興してきました。「おきたま」という言葉は奈良時代に成立した歴史書である「日本書紀」に初めて登場します。そこ

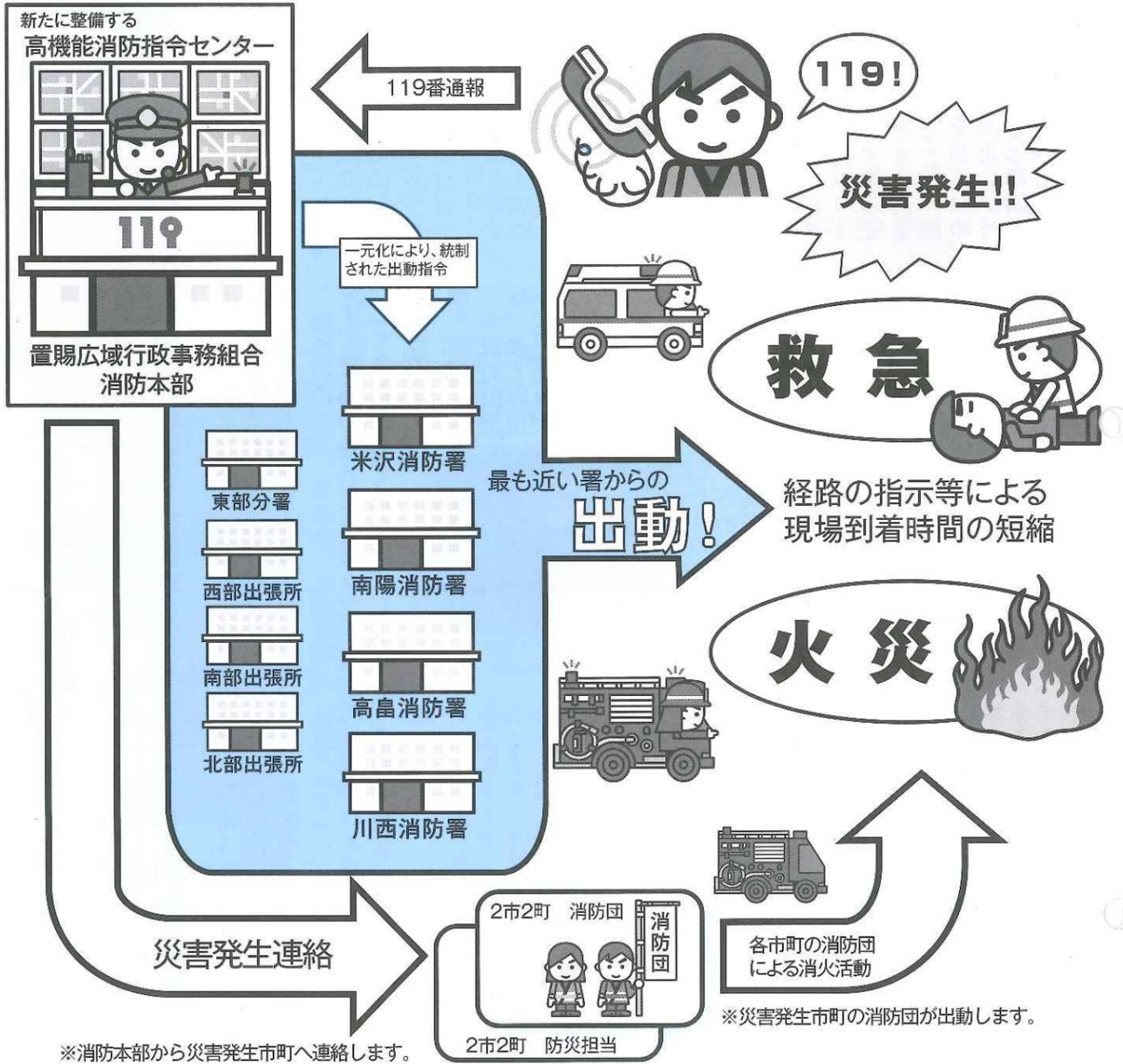
から数百年、置賜地域は長井氏、伊達氏、上杉氏の領地として治められてきました。現在、置賜地域は8市町で構成されていますが、各地には歴史を伝える地名が、今日まで数多く残っています。

今回の置賜再発見は、歴史を伝えるいくつかの地名を特集し、ご紹介します。

広域広報おきたま No.45 目次

● 消防広域化について	P2~3
● 置賜再発見 (第17回)	P4~5
● ふるさと市町村圏計画最終年度事業について	P6~7
● 指定ごみ袋のアンケート結果の公表	P8
● 焼却灰等及び空間放射線量の放射能濃度の公表について	P9
● 本組合の震災支援について	
● 職員採用について など	P10
● おきたまニュース -置賜各市町からのお知らせ-	P11
● 湯るっについて	P12

消防広域化による迅速な出動



※消防本部から災害発生市町へ連絡します。

2市2町 防災担当

※災害発生市町の消防団が出動します。

ご意見やお問い合わせは、
下記へお寄せください。



【問い合わせ先】

- 置賜広域行政事務組合事務局
消防広域化準備室
- TEL 0238(23)3246
- FAX 0238(24)4659
- MAIL syoubou@okikou.or.jp

現在、本組合では消防職員の新規採用に向けた準備を進めています。採用人数及び選考方法等の詳細については、本紙の10ページまたは、本組合ホームページをご覧ください。なお、9月以降の各市町広報紙等でもお知らせする予定です。

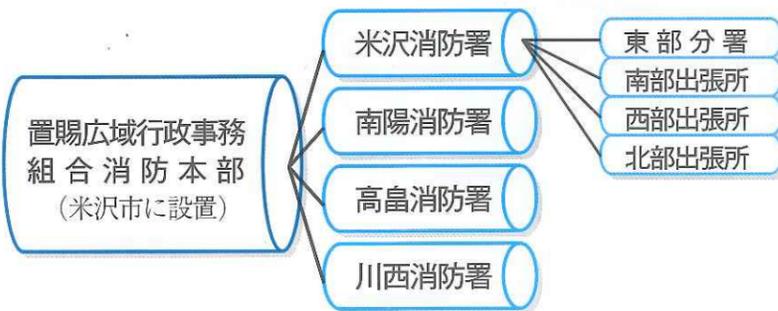
平成24年度消防職員採用試験の実施について

特定が従来よりも早くなります。出動指令は、自動的に最も近い消防署に出すことができ、同時に消防救急車両への経路の指示も行われるので、現場到着の迅速化が図られます。なお、高機能消防指令センターは、米沢市消防署の隣に、新たに建設するはしご車等車庫2階に整備し、平成24年4月1日からの本稼働を予定しています。

広域消防体制移行が正式に決定
本組合では、2市2町の消防広域化に向けてこれまで検討を重ねてきましたが、消防救急業務を共同で行うため、組合規約の変更手続きを山形県に行い、3月29日に許可が下りました。これにより、来年4月1日からの消防広域化がスタートします。また、7月19日に行われた本組合議会7月臨時会では、広域消防本部の設置条例、消防職員を本組合職員とするに伴う定数条例の改正議案等が、全会一致で可決されました。このように、平成24年度からの広域消防体制移行に向けた準備は着実に進んでいます。

平成24年度からの広域消防体制
広域消防の組織体制については、広域消防本部を米沢市に置き、現在の2市2町消防本部は消防署として、分署、出張所も引き継がれ、消防団や市町と連携して、地域の安全安心を守ります。災害時には、これまでの市町単位の出動から、2市2町全体による広域的な対応により、災害現場に最も近い消防署所からの出動を基本として、現場到着の迅速化を図ります。また、避難訓練、救急訓練、消防講話といった住民サービスに直接かかわる受付事務等は、従来どおり、各消防署で対応することを基本に検討しています。広域消防本部は、119番受付と出動指令を統制するため、新たに高機能消防指令センターを整備し、各消防署を全体的に統轄し、効率的な広域消防を目指します。

広域化当初の署所配置及び組織体制



高機能消防指令センター整備事業
本組合では、2市2町への災害出動をより的確で広域的に行うため、119番を1か所受け付け、各消防署所への出動指令等を一括して対応できる、高機能消防指令装置の整備を進めています。また、発信者の位置を地図データに表示できるように、災害現場の



米沢市、南陽市、高島町、川西町(以下「2市2町」という。)では、各市町が単独で行っている消防救急業務を平成24年4月1日から統合し、置賜広域行政事務組合(以下「本組合」という。)の共同処理業務として行う、消防広域化を進めています。



平成24年4月 2市2町広域消防スタート



置賜 風俗 賜 遺跡 再 史跡 発見 自然 見

郷土芸能 第17回

ふるまの心をさぐる

次の世代に残したいもの
いつまでも語り継がれていくもの
家族や地域をつなげるきずな
はじめて出会ってもなせか懐かしさを感じる
遠い記憶のどこかにある情景
それは私たちの「ふるさと」にあります

本組合では、置賜圏域を活力に満ちた地域にしていくための事業として、3市5町と連携しながら「広域的交流活動の促進」や「広域的人材の育成」をテーマとしたソフト事業を実施しています。ここでは、その事業の一つである「ふるさと再発見事業」の一環として、置賜圏域ならではの地域資源をシリーズで紹介していきます。

第17回目は「置賜地域の地名」です。置賜の地名には様々な伝説があります。それは、置賜の人々が言い伝えや伝承を大切にし、暮らしてきたからではないでしょうか。置賜の地名について紹介しながら、地名の由来や歴史について考えてみましょう。

はじめに

全国には数々の地名があります。わたし達が住んでいる置賜地域にも様々な地名があり、その一つ一つに由来があります。その由来を紐解けば、今まで知らなかった地域の歴史が垣間見え、もっと自分の土地のことを知りたくなるはず。今回は各市町の名前の由来と、いくつかの各地の地名にまつわる言い伝えや伝説について紹介していきます。

置賜各地の由来

置賜地方

置賜という言葉は「広い、葦の生えている谷地」というアイヌの言葉に由来するとも言われ、これに「優嗜曇（うきたむ）」の字を当てはめ、そこから「置賜」に変わったという説や、川西町に魂の集まる場所として置霊山があり、そこから置賜山となり、一郡を置賜と呼ぶようになったといわれています。

米沢市

米沢の由来は、多くの川や「沢」の水が流れ、たくさんの「米」が収穫できる土地であることや、一説には、城の近くから米のとき汁のような白井の水が湧き出て、その場所を「米井」と呼び、転じて米沢になったといわれています。



米井の祭られている社

万世町（ばんせいちょう）

1881年に明治天皇が東北北海道を巡幸した際に、刈安と福島を結ぶ栗子新道の開通式に出席し、米沢が万世に渡って栄えるようにと、「万世大路」と命名し、そこから地名に反映されたといわれています。

※天皇が各地を見回って歩くことをいいます。

長井市

長井の由来は、市内を流れる最

上川と関係があり、最上川が中国を流れる大河「長江」のようであったことや、最上川の伏流水が「井戸」のように豊かに湧き出て、村を豊かにしたことから二つを合わせて「長井」の地名が誕生したといわれています。

白兔（しろうさぎ）

その昔、京都の高僧が出羽三山参りに行く途中、四ッ谷の沼地から金色の薬師如来像を見つけ、この時に白い兔が現れ葉山へと導きました。高僧は山の景色に感動し、山頂に葉山と月山両神社を祭る祠を建立し、ふもとにも葉山神社を建て、仏像を安置しました。以来、村人は高僧を案内した「兔」をあげ、この地名が誕生したとのこと。



葉山神社と兔の石像

南陽市

南陽の由来は、南陽市の北側は丘陵地で、南には沃野が広がった土地であり、中国河南省の「南陽市」の地形に似ていることや、「南陽」の字を使った縁起の良い話があることから「南陽」になったそうです。

二色根（にいろね）

平安時代にこの地を訪れていた高僧が、森から聞こえる美しい鈴の音が誘われて山に登ったところ、大きな杉の木の間から不思議な光が放たれているのに気づき、周りを掘ってみると、淡い青と赤に彩られた石仏があり、高僧はそれを石仏を本尊として寺を開き、いつしか「二色根」と呼ばれるようになったそうです。

高畠町

高畠の由来は、耕作に関係があり、「高い」場所に水田を作ったことや、畑があったことから水田に関係する「畠」と、焼き畑農法の「畑」の字を組み合わせて「高畠（畑）」になったといわれています。

二井宿（にいじゆく）

この地は、その昔「新宿」とも書かれました。また、七ヶ宿街に居住し、姓を「伊佐」と称しました。後に伊達家が置賜を支配すると、伊達家の重臣が小国地方の領主になり、小国城を築きました。村人は、伊達家のこの地に、かつての居住地の伊佐という字を当て、「伊佐領」の地名にしたといわれています。

最後に

このように、地名には様々ないわれがあります。今まで自分たちが住んでいたり、何気なく通っていた場所も、改めて調べてみると、長い歴史の一部を知ることが出来ます。地名の由来を知り、地域の伝説と歴史を守り、地域の良さを後世へと語り継ぐために必要なことであると思います。通今まで、通り道を少しだけ振り返ってみませんか。



置賜山近くにある大光院



飯豊町

飯豊の由来は、その昔、「飯豊姫



二色根にある薬師寺



熊野神社と舟山



椿にある大福寺

小国町

小国の由来は、奈良時代、国家統一のために朝廷から派遣された武將達が越後を通り入ってきた後、遠江（現在の静岡県）の村人を呼んで土地を開拓しましたが、村人は故郷を思い出し、静岡県にある「小国神社」の御神体をこの地に分霊したこと、小国の地名が誕生したといわれています。

伊佐領（いさりょう）

伊達家の九代実宗の時、常陸国（現在の茨城県）の伊佐庄という地

白鷹町

白鷹の由来は、奈良時代に高僧が白鷹町を訪れた時、周囲の山から一羽の白い鷹が飛来して、吉兆である紫雲がたなびく光景を目にしたことから、山頂まで道を開き、菩薩像を祭り、「白鷹山」と命名し、そこから「白鷹」となったといわれています。

深山（みやま）

この地は、その昔、「三山」とも表示され、現在の「深山」の文字と混同して用いられていたそうです。「三山」とは、深山観音堂の裏にある杉林を、かつては権現森と呼び、東側に大頭森、南側に中禅寺森があることから、この三つを山に例え、「三山」と命名し、「三山」の中でも中禅寺森で特に深い森であったため、「深山」と呼ばれるようになったそうです。



深山観音堂

お待ちしております

ご感想やご意見がありましたら担当までご連絡ください。
また、置賜再発見では、みなさんからの取り上げてほしいテーマを募集していますので、情報をお寄せください。
担当：総務課企画係

取材にご協力いただきましてありがとうございました。

九里学園高等学校教諭 遠藤 英 様
(参考文献)

山形新聞社刊「やまがた地名伝説」、木村正太郎「地名のなぞを探る」他

ふるさと市町村圏計画

最終年度事業について

ふるさと市町村圏計画について

置賜地域は、自然的、経済的、社会的な一体性が確保され、地域の自立的な発展が見込まれる地域として、平成元年ふるさと市町村圏の指定を受けました。

翌年の平成2年には、置賜地域の一体的発展と振興を目的とした、「置賜広域ふるさと市町村圏計画」を策定しました。この計画は、平成2年からの10年間を計画期間としたために、平成14年度からは「新置賜広域ふるさと市町村圏計画」へと引き継がれました。

この「新置賜広域ふるさと市町村圏計画」も、平成23年度が最終年度にあたるため、置賜広域行政事務組合では、計画の集大成にふさわしい二つの事業を予定しています。

「置賜広域ふるさと市町村圏計画」

計画期間	平成2年から平成13年度
置賜の将来像	花咲き人成るいきいき置賜(ふるさと)
事業の推進	花の回廊整備事業 花と地域づくりデータベース構築事業 置賜花だより事業など

「新置賜広域ふるさと市町村圏計画」

計画期間	平成14年から平成23年度
置賜の将来像	奏であう人と花 おきたま新世紀
事業の推進	情報発信事業 ふるさと再発見事業 広域的人材の育成活用事業など



最終年度事業

広域的連携推進事業

この事業は、「おきたま情報ギャラリー」が中心となり、行政と協働し、「置賜の食」をテーマとしたイベントを開催します。

このイベントは、置賜地域のまちづくり団体が連携を図りながら事業を推進することで、意欲ある人材が市町の枠組みを超えてネットワークの形成を図るとともに、住民が置賜地域の魅力や特色を再発見することをねらいとしています。

イベントの内容は、人々が集い、交流が生まれるヨーロッパの「マルシェ」をイメージした市場を開催し、置賜地域の特産品や地元食材を活かした料理の販売を行うほか、「食」をテーマとした講演会、参加したまちづくり団体が相互理解を深めるための意見交換会などを検討しています。置賜地域の住民がひとつになつて楽しめるイベントとして11月頃に開催する予定です。詳細は、ホームページやチラシを活用して発信していきます。



おきたま情報ギャラリー
置賜3市5町の住民ボランティアで組織する団体で、本組合の「ふるさと再発見事業」を推進するため、平成19年4月に発足しました。詳しい活動内容は、ホームページ「置賜探検隊」をご覧ください。
<http://www.okitan.com/>

ふるさと市町村圏計画最終年度事業

テーマ
「広域的交流活動の促進」
「広域的人材の育成活用」

広域的婚活推進事業



この事業は、置賜3市5町の民間代表者19名で構成される広域的婚活プロジェクトチームが中心となり、置賜地域内で婚活イベントを複数回開催します。

近年、「婚活」という言葉が様々なところで聞きます。「婚活」とは「結婚活動」の略称であり、より良い結婚をするために活動を行うことをいいます。社会環境の変化により、仕事や人々のライフスタイルが多様化したことで「出会いの場」や「恋愛の機会」が少なくなったことや、少子高齢化、人口減少といった課題を解決するひとつの手段として、「婚活」は必要なものとなっています。

この「婚活」を、行政側で組織する「広域的婚活推進会議」と、置賜3市5町の民間代表者で組織する「広域的婚活プロジェクトチーム」が連携し、米沢市・南陽市・長井市を中心としたイベントの開催を予定しています。詳細は、今後、チラシやHPを活用し発信していきますので、ぜひイベントへご参加ください。



～力を合わせて支援を～

東日本大震災により、多くの方が亡くなりましたが、被災された方々に心からお見舞いを申し上げ、1日も早い復興をお祈りいたします。

大震災直後から民間ボランティアをはじめ、様々な支援がなされてきましたが、本組合の支援を紹介します。

【石巻市の可燃ごみの受入れ】

石巻市のごみを焼却する施設が津波により処理できなくなり、千代田クリーンセンターで4月から7月までに約4,800tのごみを処理しました。

【各市町避難所へ指定ごみ袋の配付及び再生自転車の提供】

置賜3市5町の避難所には、3月時点で1,600名を超す避難者が身を寄せていましたが、ごみを処理するために指定ごみ袋を無償で配付しました。現在、二次避難所の一部にも引き続き配付しています。

【浅川ふれあい公園グラウンドの利用】

福島市の空間放射線量が基準を超えており、屋外の活動を自粛しなければならず、5月から9月までの毎週土曜日に、福島市のスポーツ少年団の子ども達35名と保護者15名の計50名より浅川ふれあい公園グラウンドを利用いただいています。



焼却灰等の放射能濃度と空間放射線量について

測定結果の公表

本組合では焼却処理施設の焼却灰、各し尿処理施設の脱水汚泥等の放射能濃度を測定しました。類似施設と比較して高い数値ではなく、健康上への影響はほとんどありませんのでご安心ください。

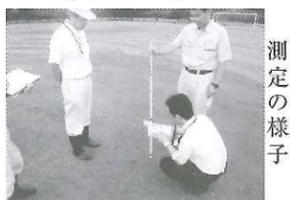
また、本組合の各施設で空間放射線量も測定しました。隣接市町と同水準であり、自然界で問題となる数値ではありませんでしたのでご安心ください。

【焼却灰及び脱水汚泥等】

- 1 測定機関 (株)理研分析センター
- 2 試料採取日 平成23年7月8日(金)
- 3 測定方法 ゲルマニウム半導体検出器によるガンマ線スペクトロメトリー

【空間放射線量】

- 1 測定機器 シンチレーション式放射線測定器(山形県と同じ)
- 2 天候 7/4 曇り時々晴れ
7/21 晴れ



測定の様子

*1 測定結果は30秒間隔で5回測定し、その値を平均(少数以下第3位を四捨五入)した数値
*2 千代田クリーンセンター灰クレーン見学者ホールは、扉高窓のため床上100cmのみ調査
*3 浅川最終処分場西側敷地境界は、浅川ふれあい公園調査時(7月4日)のデータ
*4 飛灰とは、ろ過式集じん器などで捕集した排ガスに含まれるダスト(ばいじん)

【焼却灰及び脱水汚泥等】

施設名	測定物	ヨウ素				合計
		131	134	137	セシウム	
千代田クリーンセンター(焼却)	飛灰	不検出	560	660	1,220	
	主灰	不検出	180	220	400	
米沢クリーンセンター(し尿)	脱水汚泥	不検出	10.0	12.0	22.0	
		不検出	9.8	12.0	21.8	
		不検出	不検出	20.0	20.0	
浅川最終処分場(埋立地)	側溝汚泥	不検出	490	540	1,030	
	脱水汚泥	不検出	不検出	不検出	不検出	

【空間放射線量】

調査日	調査場所		測定結果(μSv/h)*1	
	施設名	調査地点	地上50cm	地上100cm
7/4	米沢クリーンセンター	グラウンド中央部付近	0.08	0.09
		緑の交流広場中央部付近	0.07	0.07
	浅川ふれあい公園	多目的グラウンド	0.08	0.08
		芝生広場中央部付近	0.10	0.10
7/21	長井クリーンセンター	南側敷地境界	0.09	0.08
		北側敷地境界	0.08	0.07
	南陽クリーンセンター	グラウンド中央部	0.10	0.10
		西側敷地境界	0.10	0.09
	千代田クリーンセンター	東側敷地境界	0.08	0.08
			西側敷地境界	0.09
		南側敷地境界	0.09	0.08
			北側敷地境界	0.10
		焼却灰積出場	0.10	0.10
			灰クレーン操作室	0.09
ばいじん処理室	0.06	0.06		
	灰クレーン見学者ホールガラス窓*2	-	0.08	
浅川最終処分場	東側敷地境界	0.07	0.07	
		西側敷地境界*3	0.07	0.07
	南側敷地境界	0.06	0.06	
		北側敷地境界	0.08	0.07
	埋立地内(飛灰埋立地)*4	0.08	0.10	
		排水処理施設内	0.04	0.04
南陽やすらぎ荘	グラウンド中央部	0.11	0.10	
	正面玄関前	0.08	0.08	

指定ごみ袋に関する使用状況調査結果

指定ごみ袋は、平成10年度に平袋タイプでスタートし、以前から要望が多かったレジ袋タイプに昨年4月から変更しましたが、このうち、可燃ごみ袋について、取っ手部分が「破れやすい」というご意見が数多くあり、昨年12月に袋の材質を変更し破れにくくしました。

この度の変更により、住民の皆様には大変ご不便をおかけしましたが、12月の変更によってどのように改善されたか、また、日頃、指定ごみ袋に対してどのような意見をお持ちか、調査を実施しました。

調査により、ほとんどの人から「結びやすくなった」「破れにくくなった」との回答があり、概ねご満足いただいていると考えています。

この調査については、ホームページでも公表しておりますが、指定ごみ袋に関する意見は詳しく掲載させていただきました。

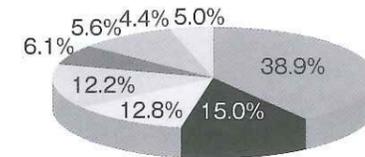
なお、指定ごみ袋に関係する意見以外にも、たくさんの意見がありましたが、これらについては置賜3市5町の衛生担当職員による検討において、今後の参考とさせていただきます。

【調査の目的及び結果】

調査目的 材質変更による使いやすさ等を調査

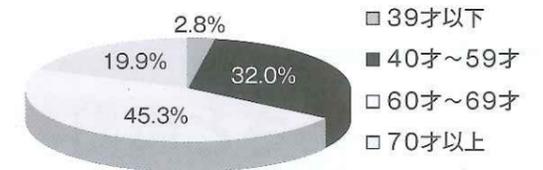
調査時期 平成23年3月～4月

問1 どちらの市町にお住まいですか



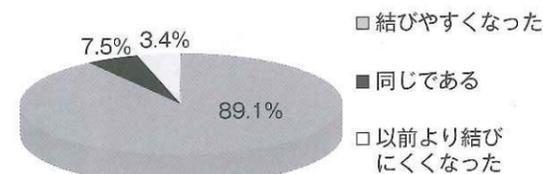
各市町の人口割合に応じて調査を実施しました

問2 主に指定ごみ袋を取り扱ったりステーションに運ばれる方の年齢はおいくつですか



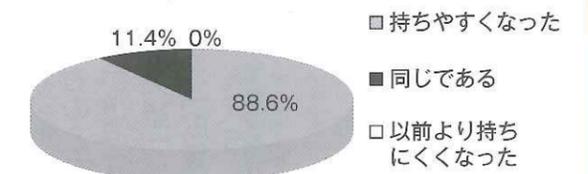
約7割の家庭で60歳以上の方が、ごみの取扱いを行っています

問3 レジ袋タイプになって結びやすさはどうですか



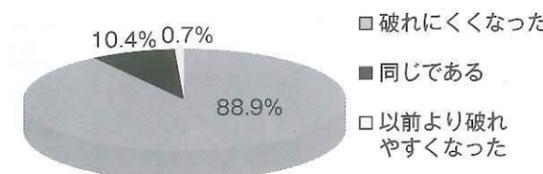
約9割弱の方々が結びやすくなったと回答されています

問4 レジ袋タイプになって持ち運びは どうですか



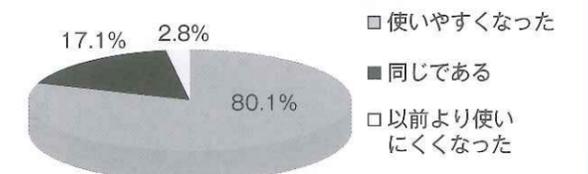
約9割弱の方々が持ちやすくなったと回答されています

問5 新しい可燃ごみ袋になって破れにくさは どうですか



約9割弱の方が破れにくくなったと回答されています

問6 新しい可燃ごみ袋になって使いやすさは どうですか



約8割の方が使いやすくなったと回答されています

開館10周年記念企画展

「近くてなつかしい昭和2~昭和の旅の記憶～」

懐かしい駅前喫茶や町並みの再現とともに、楽しかった旅の記憶を呼び覚ましてくれるお土産品や写真などを多数展示。ご家族で「昭和」を体感できる展覧会です。

◆いつ 平成23年7月28日(木)～9月25日(日)

※会期中の休館日:8月24日(水)

◆どこで 米沢市上杉博物館

◆問い合わせ

米沢市上杉博物館
TEL 0238-26-8001



写真提供: 北名古屋市歴史民俗資料館

第35回白鷹鮎まつり

9月、白鷹の観光ヤナ場は、落ち鮎シーズン到来!一雨ごとに鮎がヤナに掛かり、時には数百匹が一度に掛かる事も!白波をたて簾に鮎が掛かる躍動感。ヤナ場で鮎を手づかみ出来る感動。どうやら今年も豊作が見込めそうですよ!また、同時開催で「しらたか工芸体験まつり」(18日、19日)を開催します。ぜひ秋の白鷹を満喫ください。

◆いつ 平成23年9月17日(土)～19日(月)

◆どこで 道の駅白鷹ヤナ公園

◆問い合わせ

白鷹町観光協会
TEL 0238-86-0086



町民総合センター「あ～す」が開館20周年迎える

飯豊町は「音楽からのまちづくり」を推進しています。その拠点となっているのが、町民総合センター「あ～す」です。7月9日・10日には、日本を代表する音楽家を講師に招き「めざみの里カンタート」を開催。全国から多くの合唱団が参加し、音楽を通じた交流が盛り上げられました。

そんな「あ～す」が今年、開館20周年を迎えました。その記念行事として、西六郷少年少女合唱団演奏会、NHKラジオ第一公開番組「真打ち競演」、山形交響楽団と地域住民コンサートなどたくさんのイベントが企画されています。ぜひ町外の方も飯豊町にお越しいただき、音楽などの文化事業をお楽しみください。

◆問い合わせ
町民総合センター「あ～す」
TEL 0238-72-3111



見るダリヤ園から体験するダリヤ園へ

4haの敷地内に650種10万本のダリアの花が咲き、日本一の規模を誇る川西ダリヤ園。ダリヤ園では8月1日の開園から11月3日の閉園まで、色も形も違うさまざまなダリアが、見る人の心を癒してくれます。

今年のダリヤ園では、女性はもちろん、女性と男性と一緒に楽しめるような各種イベントを予定しています。見るダリヤ園から体験するダリヤ園へ。毎年恒例の「全国玉こんにやく選手権大会」も企画しております。

◆いつ 平成23年8月1日(月)～11月3日(木)

◆どこで 川西町ダリヤ園

◆問い合わせ

川西町産業振興課 商工観光グループ
TEL 0238-42-6645

おきたまごよみ 8月～平成24年1月

8月(葉月)

15～16日 たかはた夏まつり「青竹ちようちんまつり」(高島町中心商店街)

23日 虚空蔵尊灯篋流し(高島町糠野目橋河川敷)

9月(長月)

3日 地酒と黒こまつり(川西ダリヤ園)

3日 いいでめざみの里まつり(飯豊町民総合センター「あ～す」)

10～11日 赤湯温泉ふるさと祭り(南陽市赤湯温泉通り)

17～19日 東北ダリヤ名花展(川西ダリヤ園)

17～19日 第35回白鷹鮎まつり(道の駅白鷹ヤナ公園)

18～19日 全国青年まちづくりフォーラム(南陽市中央花公園)

17～18日、23～24日 米沢上杉まつり秋の陣(米沢市松川河川敷等)

10月(神無月)

9～11日 かわにし秋まつり(川西ダリヤ園)

9日 縄文祭り(長井市古代の丘)

16日 Music for BIOMBO2011 屏風から飛び出る音楽!(伝国の杜置賜文化ホール)

中旬 ひろすけ祭(高島町浜田広介記念館)

22～11/13日 第99回南陽の菊まつり(南陽市中央花公園)

30日 黒沢峠まつり(小国町黒沢地内お祭り広場等)

11月(霜月)

上旬 いいで秋の収穫祭(予定)(飯豊町民総合センター「あ～す」)

3日 たかはた秋まつり(高島町役場前)

4～5日 国際森林年記念 白い森の国フォーラム(おぐに開発総合センターほか)

3～6日 白鷹町産業フェア2011(白鷹町産業センター周辺)

中旬 秋の感謝祭 のどか村そばまつり(白鷹町いきいき深山郷のどか村)

19日 めざみの里音楽祭(飯豊町民総合センター「あ～す」)

12月(師走)

3日 四季の歌「冬うた」を歌う集い・「あ～す」イルミネーションコンサート(飯豊町民総合センター「あ～す」)

11日 人権啓発活動講演会(米沢市伝国の杜 置賜文化ホール)

平成24年1月(睦月)

1日 タス元旦祭(長井市タス)

1日 川西町元旦マラソン大会(川西町民総合体育館周辺)

25日 亀岡文殊堂祭礼星祭り(高島町亀岡文殊)

置賜広域行政事務組合職員採用試験のご案内(平成24年4月採用)

1 試験区分・受験資格・採用人数

試験区分	受験資格	採用人数
上級行政	昭和57年4月2日から平成2年4月1日までに生まれた人 ※ただし、平成2年4月2日以後に生まれ、大学を飛び級で卒業(見込み)の人も受験できるものとします。	1名
消防士	ア 昭和57年4月2日から平成6年4月1日までに生まれた人 イ 採用後に米沢市、南陽市、高島町及び川西町に居住できる人 ウ 普通自動車運転免許(AT車限定は除く)を有する人又は取得見込みの人	6名

2 試験日程・試験内容等

【第1次試験】

▽試験日 10月30日(日)
▽試験会場 置賜広域行政事務組合 千代田クリーンセンター

▽試験内容

(上級行政) 教養試験(大学卒業程度)、専門試験(大学卒業程度)、適性試験、作文試験
(消防士) 教養試験(高校卒業程度)、適性試験、作文試験

【第2次試験】

▽試験日 第1次試験合格者にお知らせします。
▽試験内容 面接試験、身体検査、運動適性検査(消防士のみ)

3 申込み・問い合わせ等

【受験申込み受付期間】

9月20日(火)～10月14日(金)

【申込み・問い合わせ先】

〒992-0012 米沢市金池三丁目1-55
置賜広域行政事務組合事務局総務課
(職員採用試験担当) TEL0238(23)3246

【受験申込書の交付場所】

▽置賜広域行政事務組合事務局総務課
▽置賜地域の市役所及び町役場の企画担当課

▽東南置賜2市2町(米沢市、南陽市、高島町、川西町)消防本部
▽本組合のホームページからのダウンロード
(<http://www.okikou.or.jp/toppage.htm>)

議会定例会・臨時会を開催しました

2/22に議会定例会、5/27、7/19に議会臨時会を行いました。2/22の定例会では、工事の変更契約に関する議案、平成22年度補正予算及び平成23年度当初予算が原案どおり可決されました。

5/27の臨時会では正副議長選挙が行われ、議長に伊藤俊美氏(南陽市)、副議長に武田正徳氏(高島町)が選出されました。このほか、議会選出の監査委員選任に関する議案(米沢市の高橋嘉門氏を選任)、財産取得に関する議案(消防指令設備)、条例改正、補正予算の各議案が原案どおり可決されました。

また7/19の臨時会では、来年4月から置賜広域行政事務組合が置賜2市2町の消防・救急事務を行うことに伴う条例改正案などが、原案どおり可決されました。

議会の会議録は本組合ホームページに掲載しております。
→<http://www.okikou.or.jp/syomu/gikai/gikaitop.htm>

有料広告募集について

置賜広域行政事務組合では、ホームページ、広域広報「おきたま」、ごみ袋に掲載する有料広告を募集しています。詳しくはホームページをご覧ください。
→<http://www.okikou.or.jp/syomu/youryoukoukoku/toppage.htm>

ありがとうございました

養護老人ホーム南陽やすらぎ荘に、南陽市ボランティア友の会様からタオル50本をいただきました。ありがとうございました。この寄贈品は、施設入所者のために大切に使用させていただきます。

子供と一緒にパークゴルフを楽しみませんか



湯るっとパークゴルフ場も3年目となり、毎年少しずつコース環境の整備に努めているところです。

パークゴルフは、おじいちゃんやおばあちゃんからお孫さんまでの3世代が一緒に楽しめるスポーツとして人気があります。

また、子供会やスポーツ少年団、学校のクラスの行事等で父兄とともに楽しんでみるのもいかがでしょうか。

20名以上の団体の場合は、割引制度もありますので、詳しくはお問い合わせください。

◇問い合わせ◇

置賜スポーツ交流プラザ
「湯るっと」
電話 0238 (57) 3948



■利用料金

会員	年会費	2,100円 (大人のみ)
	1回料金	300円
1回利用	大人	500円
	小中学生	300円
	幼児	200円
レンタル		300円
(ボール、クラブセット)		

団体の割引
もあります

芝生広場で

一緒に遊んで

みませんか

野球
サッカー



湯るっとには誰でも気軽に使える芝生広場があります。みんなで仲良くなったら、使い方は自由です。野球やサッカー、芋煮会、ピクニックなどで、ぜひ活用してください。
※火を取り扱う場合は、事前に湯るっとへご相談ください。

芋煮会
ピクニック

お知らせ

湯るっとにおける被災地支援の取り組み

義援金の受付を行っています

公益社団法人日本パークゴルフ協会のコース会員である本組合は、東日本大震災で被災された地域を支援するため、湯るっと施設内に募金箱を設置し義援金の受付を行っております。

皆様からご寄付いただいた義援金は、本組合が公益社団法人日本パークゴルフ協会を通して甚大な被害を受けられたパークゴルフ協会の所在する自治体へ寄付いたします。

【受付期間】
平成23年10月31日まで

日本パークゴルフ協会
キャラクター「バックキー」



水泳
マラソン
エアロビ



湯るっとチームへ 参加しませんか

湯るっとでは、会員、一般利用を問わず、日頃ご利用いただいている方々でチームを結成し、各種水泳競技大会、マラソン大会及びエアロビックフェスティバル等に出場し、各種目で上位入賞を果たしています。

また、出場するにあたり各競技の練習会を行うほか、マラソンについては、全国レベルのトップランナーを招いて基礎の修得からレベルアップまでの指導等を行っております。

チームへの参加を希望される方は、随時募集を行っておりますので、湯るっとまでお問い合わせください。

問い合わせ

置賜スポーツ交流プラザ湯るっと
電話 0238 (57) 3948

広域広報



ご意見・ご要望をお聞かせください

置賜広域行政事務組合 総務課企画係
〒992-0012
山形県米沢市金池三丁目1番55号
電話:0238-23-3246 FAX:0238-24-4659
E-mail kikaku@okikou.or.jp
広域広報おきたまは、ホームページでご覧いただけます。 <http://www.okikou.or.jp/>



地球にやさしい植物性インクを使用しています。